

広報広聴常任委員会記録

日 時 令和3年2月19日（金曜日）13時30分～15時58分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、金木副委員長、小寺委員、舟見委員、工藤委員、森議長
オブザーバー 平山議員、船本議員、村田議員

事務局 豊島局長、嶋元係長

阿部委員長（開会 13:30～）

ただいまから広報広聴常任委員会を開催します。

本日の議題は議会広報広聴の調査研究を議題といたします。昨年10月22日から11月20日までの約1か月の間、町民アンケートを実施いたしました。町民アンケートの中で広報広聴関係の調査をしております。その結果をもとに今後の議会の広報広聴の活動について本日は協議していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは進めたいと思っております。

■議会広報・広聴の調査、研究について

町民アンケート広報広聴関係の調査結果

阿部委員長（説明 13:31～）

まず議会広報・広聴の調査、研究について。

町民アンケート広報広聴関係の調査結果。回答者数210人、令和2年10月1日現在の全世帯3,527世帯に対する回収率は6%となります。同じく令和2年10月1日現在の全人口6,703人に対する回収率は3%となります。

まず、①の議会だより、こちらは無回答を含んでおりません。全て読むが回答数86、構成比が46.2%、関心のあるものだけを読むが回答数101、構成比が48.3%、ほとんど読まないが回答数18、構成比が8.6%、全く読まないが回答数4、構成比が1.9%となっております。

次に、②の議会が行っているまたは今後予定している広報広聴活動について興味・関心があるもの。こちらは複数回答可としております。

総回答数が472。まず議会だより、回答数118、構成比が25%。一般質問音声配信、回答数37、構成比が7.8%。議事録の公開、回答数52、構成比が11%。意見交換会、回答数47、構成比が10%。町民アンケート、回答数95、構成比が8.1%。インターネット中継、回答数40、構成比が8.5%。議会通信、回答数20、構成比が4.2%。議会ホームページ、回答数32、構成比が6.8%。特に

ないと回答したのが回答数31、構成比6.6%となっております。

アンケートの結果ですので、これについては特に何もありません。そのまま進めていいですか。

1. 議会広報活動

(1) 現在実施している議会広報活動

阿部委員長（説明 13:33～）

まず初めに1. 議会広報活動（1）現在実施している議会広報活動。①議会だよりは年4回発行しています。結果①では全て読むが41.2%。関心のあるものだけ読む48.3%。次のアンケート結果②の構成比では最上位でしたが、今後はレイアウト等、ほかの市町村議会広報誌の調査研究を重ね、議会に関心のない方にも読んでもらえるようにする必要があると考えます。

次に②一般質問音声配信。こちらは平成30年12月より開始しております。米印で羽幌町ホームページ一般質問音声のアクセス数を地域振興課のほうから提供していただいております。

3枚目の資料になりますけれども、羽幌町ホームページ一般質問音声のアクセス数として、①令和2年の音声に対して令和2年1月1日から令和3年2月2日までのデータをいただいております。

①をクリックしたのが令和2年1月1日から令和2年12月31日までは492件。

③の音声データ。こちらについては推測値では152件となっております。

令和3年。今年の1月1日から2月2日までは36の方がクリックしまして、音声データのほうが13という数字になっています。

②令和元年（平成31年）の音声配信については、平成31年の1月1日から令和元年12月31日までの間は491、そのうち各議員の一般質問の音声に対してクリックしたのが154。

次に、下の令和2年1月1日から令和2年12月31日までが69回のうち③をクリックしたのが34という回数になっております。

資料の1枚目に戻りまして、この一般質問の音声配信については、当初よりインターネット中継の代替と書いてありますけれども、インターネット中継が実現するまでのつなぎといったような感じで当初実施しておりまして、現在も実施中となっております。

今後については、データ等見てもらいましたが、アクセス数の増加に向けて周知方法等の調査研究が必要になるのではないかと考えます。

③の議事録の公開。こちらは町のホームページから見られますが、こちらについて

は平成30年4月から各常任委員会、特別委員会の議事録も公開しております。

1を読み上げますが、定例会、臨時会、予算・決算特別委員会、各常任委員会、特別委員会の議事録をホームページ上で公開しております。

④の議会通信については、現在町内の11か所に掲示しております。議会だより同様に実施しており、ほかの市町村議会を参考に調査研究が必要になるのではないかと考えます。

最後に⑤、議会ホームページ（町ホームページ内）。

こちらについても、先ほどご覧いただいた資料を地域振興課のほうより提供していただきました。

議会のページには、議会議員名簿、議会構成、議会日程、議題、議会だよりピッチリ、議会の傍聴、一般質問音声、議事録、羽幌町議会町民アンケート調査結果報告書を議会のページのほうから見るすることができます。

以上が（1）の現在実施している議会広報活動となります。

アンケートの結果でもいろいろと出てきましたので、今後改善すべき点であったり、こうしたほうがよいのではないかという意見等があれば、ぜひ皆さんのほうから出していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

1つずつ、上から順にでもよろしいです。

議会だよりについては年4回発行していますが、町民アンケートのほうにも議会だよりについての意見等はいろいろと載っていたと思います。

その中では、どうしてもレイアウトの関係上難しいところもありますけれども、質問答弁だけで終わっているのを全部載せてもらえるとありがたい、みたいな意見も載っていました。

そちらのほうはなかなか難しい部分もあると思っておりますけれども、できるだけ分かりやすく伝えるような形ということで、こうしたほうがよいのではないかというものがあれば、ぜひ議会だよりについて皆さんご意見をお聞きしたいと思いますので。

—主な協議内容等（質疑）— 13:40～13:45

森議長 恐らくこのメンバーはこれでいいとかいって、自分たちでやっているメンバーなので、その都度いろいろな話が出ると思うのですが、今回の議会だよりのまず見出しのところに主な質問を書いて、答弁がぽんと出ていましたよね。あれはすごく分かりやすいし、その結果として次中を読もうかなという気になると思います。そこで読む気にならないといって読まない人もいたかもしれないし、それで興味を持って全部読んだということはたまたまあったので報告ですけれども。それに

関連して、ちょっといつか分からないのですけれども、今のメンバーになってからか忘れてましたが、一時、簡潔になっていていいねと言っていた時期がありました。そこから私の印象ではまたちょっと字が増えて見出しのところも含めてハードルが高いというか、とっつきにくいという感じに変わっていたところが、今回問い・答えというのがあるって、よかったなと思います。

阿部委員長

レイアウト等については毎年、昨年は参加することができませんでした。広報クリニック、全道の研修会に参加しておりまして、その中でも講師の方が各町村議会の…クリニックしてもらうためには提出しなければならないのですが、そういった中で見出しは何文字以内にしたほうがいいですよとか、できるだけ写真を使ってくださいというようなアドバイスをいただいていますので、そちらを基に今後も直していければいいのかなと思っています。議会だよりについては平均して1回の発行にあたって12ページくらいということなので、どうしても紙面に限りがあるので全て載せることはできませんけれども、その中で工夫しながらできるだけ見やすい形にしていければいいと思っています。今後もレイアウト等については意見を出してもらいながら、オブザーバーの皆さんも町民の方からいろいろな意見を聞いていると思いますので、そういったものを参考にしながら、修正しながらやっていくということよろしいですか。(いいですの声。)

小寺委員

基本は来年度以降も同じような予算。予算が絡んでくるし作業は増えますが、予算があれば倍のページで情報量をたくさん載せることも可能ですし、例えば今は年4回ですけども、毎月やっているところもあるのですが。ちなみに予算上は来年度も同じ予算ですか。

豊島局長

確定的なところではないですが、今年度と同程度の内容で予算要求をさせていただいております。

小寺委員

では、やはり来年度も同じページ数でより分かりやすいものを日々作っていくというのがよいのではないかと。それしかないですよ。ページ数が増えれば情報量も増えるので、より詳しくもできるのですけれども、予算が絡んでくることなので、あくまでも現行の12ページ前後の中でやりくりして、より見やすい、見ていただきたいものを作

れたらいいのではないかなと思います。

阿部委員長　ほかにどうですか、議会だよりについて。

阿部委員長（説明　13:45～）

なければ、次に②の一般質問の音声配信ということで、こちらは平成30年の12月より開始しています。

データを地域振興課のほうから提出していただきましたけれども、これについて皆さんどのように感じるのか、多いのか少ないかという部分で。

音声配信をやっているということをおある程度分かってもらわなければ困る部分がありますし、こちら議会だよりのほうにも実際QRコードで載せていますので。

そちらのほうからも聞くことはできますけれども、今の周知が足りない部分もあるかと思しますので、いろいろな機会を使ってやっていければいいのかなという思いもありますけれども、これについて何か意見等あればお願いします。

－主な協議内容等（質疑）－　13:46～13:58

小寺委員　委員会なので皆さんどう考えているか。やっぱり必要ですよ、音声配信は。その辺はどうかと。あくまでも、スタートした時は議事録だと定例会が終わってから3か月から4か月後に掲載されるので、スピード感を持ってということで音声を先に流してはどうかとスタートしたのですよね。ただ、それを皆さんどう評価しているかは分かりませんが、自分が聞いた方からだと音声もちろんいいのだけれど、やはり画面上に何も動きもなく真っ暗な画面で聞くので、一番いいのは動画配信ができれば動きがあるので目でも見られるということを言われています。音声がいいということではなく、あくまでインターネット中継までの代わりというか、それまでのつなぎとして始まったのだと思うのですよね。だから、音声で終わるという計画で音声を始めたというスタートがそういうものだったので、今後音声で充分と考えるのか、それとも毎年インターネット、後で話も出ると思うのですが、インターネットの動画を出していくのがいいのか、その辺皆さんはどう考えていますか。もしこれで音声だけで充分だということであれば、インターネット中継の話も変わってきますし、ただ、議会全体としてインターネットの中継というか、録画配信をするということで要請をしているので、その辺皆さんはどのように考えていますか。

金木副委員長 前回、10日の日に局長を通じて内示の結果を聞いた際、その時の話も出てきました。町側でインターネットについては、道内で導入議会が少なく実際に視聴している数も少ないと。緊急性も少ないのだという意見だったと思うのですよね。といっても、うちの議会としてはみんな全会一致でぜひとも中継のことを進めていきたいと、そのための費用を予算要求してきたので、今の段階で音声だけで充分だという考えは私もないです。できるならインターネット中継もぜひ実現させたいという気持ちはあるのですが。今の音声だけで充分だからこのままでいいという考えではない。私の考えはそうです。

阿部委員長 音声を継続する。

金木副委員長 取りあえず継続しなければならないでしょう。

阿部委員長 あくまでもインターネット中継までのつなぎという形でスタートしていますし、やめる必要もないのかなと。音声配信については。自分も知っている方から音声聞いたよという声もありますので、先ほど小寺委員が言っていたように、真っ黒の画面なのでどうしても見づらいとか、聞いていて飽きるという声も聞いていますし、できればそこに何か写真を貼り付けてということで、こちらについては町のほうに一応話をしています。ただ、そこから先に進められていないのでちょっと申し訳ないのですが、できれば画像を添付するような形がいいのか、そういった形で音声を配信しながら、聞いている人が飽きないというとあれですけども、ちょっと工夫も必要なのかなとは思いますが。ただ、継続していく必要はあると個人としては考えております。継続していくには問題ないと思いますので。

森議長 質問なのですが、ここ1年以上聞いていないので前聞いたときの記憶ですが、ただもやもやっていうのがあるだけの画像ですよ。YouTubeとかだと、入れた瞬間に例えば10分だとか15分だとか、時間が出ていて、早送りしながら画面見ながら画面の大きさを調整したりして。音声の場合、ただもやもやと出ているだけでいつ終わるかも分からないし、延々と聞いていなければならないというようなことで。スライド時間出ていましたっけ……時間だけ出ている。やはりなかなか忍耐ありますよね。それと前回行ったときに、写真が載って

いるものだと思ったのだけど、あのときは了承したような印象で帰ってきた。写真載せますからくらいのことでもいいですよって言ったら、ダメとも言わないし、もう載っていると思ったのですが、それが進まない理由というのは何ですか。

阿部委員長 音声だとMP3ですが、画像を載せるとしたらMP4なのですよ。となると、容量的に……。正直そこまで詰めてもいないので。

森議長 町が拒否したという印象は全くない。

金木副委員長 拒否はしていなかったが、あれでオーケーが出たと言うふうにも、ちょっと曖昧な感じであったのではないかと思います。

阿部委員長 容量的な部分もある。もう一度進めて、オーケーであればそれで載せるようにしたいと思います。音声配信についてはどうですか。このまま長く続けていくということで。

金木副委員長 アクセス数の①・②の数字と、③の数字がどう違うのかなという。この数字は回数なのか、人数なのか、その辺をどう解釈したらいいのか。

阿部委員長 まず①・②をクリックしたが、③を結局何も聞かないで③の場合、小寺議員を聞こうと思ったら1回、というふうに、開いたが音声は聞かないで戻ってしまったということだと思います。

豊島局長 雑駁な説明になるかもしれないのですが、改めてアクセス数の①・②をクリックというのと、③音声データのクリック、推測値というところの説明なのですが、今阿部委員長のほうからも言ったように、①・②というのは、資料にあるように令和2年音声、令和元年音声、という箇所を1回クリックする。クリックしたら、次に音声を実際に聞けるところに飛んでいくのですが、飛んでいったところが③の音声データというところがあるので、それぞれを例えば、金木議員の一般音声を聞いてみようかな、工藤議員の聞いてみようかなということで、それぞれそのページに訪れた方が選択をして、何かしらの音声を聞こうと思ってクリックしたのが③ということでの数値となっております。

なので、実際は1人の人が何回も訪問しているかもしれませんということ、先ほど人数ではなく、回数という説明をしたのはそういうことなのです。実際に①・②というのは訪問しても音声までは行かなかった。なおかつ、音声についても誰のを聞いたということは分かりませんし、併せて言うと、音声を最初から最後まで聞いたかどうかも分かりませんし、クリックしただけで聞かないですぐ閉じて1回にカウントされますので、というところの事情であることをお含みいただければと思います。

小寺委員 ページを見れば分かると思うのですが、部屋ごとのアクセス数なので、音声という部屋では①と②・③もあるのですが、③は平成30年度という部屋があって、その部屋に入ったかどうかなのですよ。部屋の中に小分けに音声のデータがあるという仕組みになっていると思うのです。これを見ると、自分の分析だと例えば令和2年1月からの1年間、町の議会ですね、2,400で、やはり5分の1は音声のページに行っているのではないかと思う。なので、やはり議会に関心があって、その後に5人いた内の1人は音声のページに行っているということ。分析として、自分は多くの人が行っているのではないかと思っています。全体の分母をもっと増やすための方法は、考えていかなければならないのではないかと思います。

阿部委員長（説明 13:58～）

あそれでは③の議事録の公開ということで。こちらについては平成30年の4月から、先ほど説明しましたが各常任委員会の議事録を公開しておりますし、各特別委員会の議事録も公開するようになりました。町民アンケートの結果を見てもらえば分かりますけれども、議事録の公開に興味関心があるということで11%、構成比でいえば上から3番目の関心の高さとなっております。そういった結果が出ていましたし、アンケート結果の中にも議事録を見られるようにしてほしいというような声もあったのかなと思っています。ただ、こちらについてもホームページの議事録のところのアクセス数までは確認できていませんが、こちらも議事録を公開していますよということで、皆さんに知ってもらえるような取組みが今後必要になるのかと思います。これについては、議会だよりのほうにも改めて載せたりですとか、そういったことが必要になるかと思いますが、まずはこの議事録の公開についてどのように考えているのか、お聞きしたいなと思います。公開すること自体は反対ではないと思います。それについてはどうですかね、例えば普段の議員活動の中で町民の方に何か聞かれたりとか、そう

いうものを出していないのかと言われてたりとか、そういったこともあると思いますが、何かあればご意見いただきたいなと思います。

－主な協議内容等（質疑）－ 14:01～14:08

小寺委員 議事録の公開については、羽幌町議会は進んでいるほうだと思うのです。管内でも、委員会も含めて全て公開している市町村は確かなかったと思うのです。従来どおり、事務局に閲覧に来てくださいという形では見られますが、こういった委員会も含めてインターネットで公開しているところは管内に限ってはほかにはないので、自分はとてもよい取組だと思います。ただ、議事録は必ず作成するのですが、いつも思うのは事務局の負担がすごく多くなってきているので、もちろん業者に頼んでいるものもありますが、その辺の負担軽減もいろいろな機材なども出ているので、そこも考えてあげないと議事録を作ることばかりになってしまい、負担が今まで以上にどんどん増えていくのではないかなと。特にきちんとした言葉の議事録なので、要点筆記の議事録ではなく、誰がどういうふうにしたというのがきちんと残る議事録を作っているの、やはり機材なのか方法なのか予算なのか、その辺も全体で考えてあげる必要もあるのではないかと思います。

阿部委員長 今は議事録、ホームページに委員会開催してから大体3か月くらいですね、3か月から4か月、今年度についてはコロナ関係でちょっと公開する時期が遅れてしまったということだそうですが、大体3か月後くらいには見られるようになるのかなと。小寺委員からもありましたように、まずは事務局のほうで音声データを聞いてという形でいいのでしたっけ。

豊島局長 原則的な話をさせていただきます。まず議場でやる本会議ですね。こちらについては委託費を予算措置していただいておりますので、業者のほうに委託に出すという形でお願いしています。併せて常任委員会についても、業者のほうにお願いできるものについては、お願いするという形でやっていますが、予算もありますので、予算が厳しい状況になればやはり事務局のほうでも自助努力という形で音声データを耳で聞いて起こすという対応はさせていただいております。特に今年度

はコロナウィルスの感染が拡大し、当町においては特別委員会を設置するということで、当初予定していないものが突発的に増えてきているという事情もありまして、なかなか予算的な兼ね合いもあって出来上がりまでにお時間を取ってしまって大変申し訳ないと思うのですが、そういった事情もあって、なかなか掲載までに時間がかかっているというのが正直なところです。原則は、お願いできるものをお願いしているということです。

阿部委員長 ほかどうですか。

工藤委員 議事録の公開の意味は、インターネットで、羽幌町のホームページで見られるよということが公開の意味ですか。

阿部委員長 はい。

工藤委員 できるのであれば、今までどおり公開できるようにしたほうがいいと思う。

阿部委員長 当初からですね、先ほども言いましたが公開していくという意味で、平成30年の4月からホームページ上に委員会・特別委員会の部分も公開するようにしていますので、先ほど小寺委員のほうからもありましたように、羽幌町は議事録の公開という部分では進んでいるという思いもありますので、もちろん今までどおり公開していく形にはしていきたいと思います。その上で、町民の皆さんにも気になる部分とか、特に常任委員会等であったり、特別委員会とかだったら、どうしても気になる部分というのはあると思いますので、そちらのほうもしっかりと周知して議会のホームページのほうから見られますよという形で、議会だよりなどを通じて周知していくのがいいのかなと思っています。ほかになければ、議事録のほうも今までどおり継続するという事で、町民の方にもしっかりと公開していることを知ってもらおうということで、今後もしていきたいと思います。

阿部委員長（説明 14:08～）

次に④の議会通信。これについては平成30年くらいから実施しています。現在町

内11か所に掲示しております、ただ掲示する期間が議会運営委員会終了後から定例会終了までという短い間ですので、どうしても町民の方も目にする機会が減って、もしかしたら少ない部分もあるかと思えます。ほかの市町村議会でも同じようなことをやっているところもあります。近いところでいくと、留萌市議会さんはかなり力を入れてやっていますので、そういったところも参考にしながら今後も継続という形でよろしいですか。(はいの声。)

阿部委員長(説明 14:08～)

次、⑤の議会ホームページ。これは町のホームページ内から入ることができます。先ほどの一般質問の音声のアクセスの資料の中にも、羽幌町議会のページをクリックした件数が載っています。先ほどから出ている議事録であったり、今回実施しました町民アンケートの調査結果報告書、あと、一般質問の音声等もこちらのほうから見たり聞くことができますので、こちらについても町民の皆さんにホームページを見てくださいと伝える手段がどうしても広報や議会だよりしかないという部分で、ちょっと難しいのかな、寂しいなという思いもありますが、広報誌等を使いながら町民の皆さんに見てもらえるよう、今後も努力していきたいと思っています。議会だよりの表紙にですね、QRコードが付いております、QRコードをかざすと、こちらは全部ホームページに飛ぶようになっています。ホームページについては今までどおりやっていくという……。

—主な協議内容等(質疑) — 14:10～14:30

小寺委員 アイディアなのですが、先日それこそ議会のホームページ、アンケートを見てくださいということ電話で話したときに、電話で話しながらここを押してくださいと誘導したのですが、議会のページに行くところが分かりづらいから、自分はおそらく予算はかからないと思うのですが、きちんとした議会のバナーを作って、今は議会とか教育委員会とかいろいろな委員会のくくりの1つなのですが、大きめで分かりやすく誘導するためのものを作って、そこを押すと議会のところにいけるような工夫というか、入り口が分かりやすい改善をすれば、もう少しアクセスもしてくれるのかなと思うのですが。

阿部委員長 今、町のホームページの左側に各委員会のものが載っております、どうしても分かりづらいという声を聞いたことはあります。右側にバナーが結構出ていますが、空き家バンクやふるさと納税とかそういう

たバナーです。そういったものを分かりやすく作ったほうが良いということですね。これについては、ホームページを管理しているのは地域振興課になりますので、そちらのほうとも話を、こういった意見が出たということは伝えておきますので、そんな感じになりますよね。これでいいですか。

小寺委員　ここでそれがいいのではないかとということになれば伝えるし、それは私の意見であって、皆さんがどう思うかによって……。

阿部委員長　ホームページから議会に入るっていうのは。

工藤委員　それが簡単にできるのであれば、やったほうが良いのではないですか。それをやるのにお金がかかるとか、そういうふうになればまた別ですが。

森議長　少しずつマイナーチェンジしているような気がするのですよね。入り口は羽幌町議会が小さくあって、この部分を説得して、羽幌町議会だけ独立して目立つところにバナーを配置するだけでも全然違うと思うのですが。それを理解してくれるかどうかですが。メインメニューの下位に羽幌町議会というバナーを作ってくれるだけでも、かなりアクセス数が変わってくるかなと前から思っている。

阿部委員長　ほかの自治体などでも、議会は議会のバナーがあったりもするので、そういったことも話しながら……

森議長　ホームページを開いて、羽幌町議会が色抜きで1つぽんとあれば。マイナーチェンジもしていると思う。さっきの音声データの話でないが、最近の町ホームページは音声データというものを開かなくても順に新着のものが5つくらい載っているではないですか。最新の音声データとか議事録は一発で入れるのですよ、そこを開けば。バナーを地域振興課に頼んで、うまい具合に独立させてもらうところからでもスタートしたらどうでしょうか。

小寺委員　町のホームページにとやかく言いたくはないが、うまく話して議会ワンセットで……。ワンセットのグループなので、それを議会だけのそういうところの中で、今みたく項目があるところに議会広報とか音声

データとか日程とか、そういう項目を1つ羽幌町のトップページに作ってもらえば、それこそワンクリックで音声データにいけるだろうし、もちろん議会のページは今までどおりなのですが、リンクをうまく貼ることでちょっと委員会と議会を分けてもらって、トップページですぐに音声に飛べたり、日程を確認できたり、そういう項目をもう1つ作ってもらってかつ、なるべく目立つように上に行くのか、右によるのか、それは交渉だと思うのですが、やはりこちらからもアイデアを出して協力してもらわないと。そういう音声データのアクセスも上げるために協力してくださいというようなことは一番手っ取り早いというか、まずはやはりトップページから音声、日程、議事録にすぐアクセスできるような、自分は技術的には難しいことではないと思うので、やろうと思えばすぐできると思います。

森議長 質問ですが、さっき私が言ったようなことと同じことを言っていると思うのですが、何か違うことを言っているのですか。同じことを言っていますよ。

阿部委員長 この件については、町のホームページを管理しているのが地域振興課になりますので、まずそちらのほうに相談しながら、皆さんのいろいろなアイデアをいただきながら、進めていける部分は進めていきたいと思います。

金木副委員長 この委員会で言うべきものかどうかちょっと私も分からないのですが、ホームページの話になっているので話をしたいのですが、議会議員名簿のページありますよね。羽幌町の場合、まだ個人の住所とか電話番号とか載っていません。生年月日とか。

小寺委員 生年月日と住所と当選回数。

金木副委員長 ならいいのか。直近の自治法の改正かな、議員の個人情報のようなものは極力…極力というか、載せないほうが無難みたいな、そういった国からの連絡か何か来ていませんか。というのは、例えば住所や電話番号を載せていて、議員攻撃といったら変ですが、そういう例もあるので、ホームページには公開しないほうがいいみたいなのが。

森議長 まあ住所なんて典型的な個人情報ですよ。田舎だから分かっているようなもので、都会では絶対載せないですよ。それと、生年月日なんかも危ないのが、これは本人の不注意もあるけれど生年月日でいろいろなキーワードとかパスワードとか、そういうものに使っているのがこういうのに載せることによって推測されやすいところもある。

小寺委員 自分が逆に足してしてほしいのは、よその議会を見ると議員の顔とか顔写真とかちゃんと載っていて、この方がこの人だとか、全体写真の場合もあるが議会のページを見ても議員の名前はあれど、実態がわからない。それが個別の写真なのか、全員で撮った写真なのかは別としても、何か委員会ごとの写真を載せているほかの地域の方もいらっしゃいますし、せっかく羽幌町議会のページに来て、一番トップが議場の誰もいない写真がぽんとあって、それよりはやはりこういう議員がやっていますという、より身近になるような試みも必要なのではないかなと。個人情報を別にしても、やはり顔を出していかないと町民の人も実際顔を見たことない人はいないと思うのですが、そういうのもアイデアとしていいのではないかなと思います。

阿部委員長 留萌市議会は出していますよね。確かホームページ。議員名簿みたいなところに。

小寺議員 ちなみに留萌市議会の場合だと個人の住所、当選回数、生年月日、党派、電話番号、ファックス、メールアドレスまで、アドレスがある方ですね。後は所属の常任委員会とかですね。その辺どこまで出すかは議会のマナーなのだと思うのですが。

(休憩 14:23～14:29)

阿部委員長 議会議員名簿については、個人情報の公開につながってきますので、こちらについては全議員の意見等を聞きながらその中で今後判断していきたいと思います。よろしいですか。取りあえず1の議会広報活動の(1)現在実施している議会広報活動については以上となります。

(休憩 14:30～14:42)

(2) 調査中の議会広報活動

阿部委員長（説明 14:42～）

(2) の調査中の議会広報活動、①インターネット中継。令和3年度当初予算に予算要求をしています。予算要求額が508,000円になっていました。結果については2月10日、事務局長のほうから説明があったと思います。今後についてということで、一応広報広聴常任委員会の所管というものはないので、調査のほうにはインターネット中継が調査事項として入っています。これまで続けてきていますので、今後どうしましょうかというところとあれですが。調査内容についてはある程度出し切ったというか、調査する内容のネタがなくなっているのですが、まずは毎年予算として要求していくというのが大事なのかなと思います。何か皆さんご意見あればお聞きしたいと思います。

— 主な協議内容等（質疑） — 14:42～15:32

工藤委員 予算を要求して駄目だったということで、内容はもう出来上がっているの、また次年度予算のときに出すということでいいと思います。

阿部委員長 毎年予算要求をしていくということで。

小寺委員 自分は逆で、さっき金木委員がおっしゃったように、せつかく町側から今後の広報について協議をしたいということで町側の要請で表向きは協議を始めたわけですね。その協議といっても、議会側からあくまでもこういうことがいいのではないかという話合いをただけで、町側からのアイデアだとか話というのは、全く今までの話合いの中では出てきていないはずなのですね。そして、そこの協議もまとまって今回の予算が否決といったら変だ、外されたということではなくて、あくまでも予算だけで、先ほどの理由でその協議自体終わっていない、今後の協議はどうなっているのかなど。協議の途中なのにもかかわらず、緊急性がないとかそんな話は確か会議では出てないはずなのですね、インターネット中継についても。だから今後協議、もちろんだろうというふうに進めていくのかちょっと分からないですが、町側が今後どうしていきたいのかっていうことは触れられていないですし、協議だって途中なわけで、あくまでもインターネットを含めた広報のあり方なのに、全く町側のアイデアとかそういうものが出ていないわけだから、もし緊急性がないのだったらどういうことを町側がして

いきたいのか、自分はもう一回きちんと説明してもらう機会が必要な
のではないかなと思うのですよね。というのが私の意見です。

阿部委員長 それは、こちらから協議してというか、理由を聞かせてというのを伝
えてやってもらうのか、向こうから出てくるまで待つのか。

小寺委員 一応まだ協議は続いている段階だと思うのですよね。予算を要求して
終わりという協議ではなくて、あくまでも議会側で何回か話合いをし
たと思うのですが、議会はこういうことをして広報に力を入れていき
たいと思います、こういう機材はどうでしょうっていうのをもちろん
提案をしているのですが、町側からはなかったと聞いているのですよ
ね。でも最初は、町長を含む町側から方法について議会と話し合っ
ていきたい、検討していきたいということで始まった協議なのに、町側
の答えは緊急性がないだとか、それは予算上ではそうですが、その話
合いの中では全く触れられていなかったですよね。その話合いの中で、
緊急性がないと思うからという話があつての今回なら納得できるの
ですが、そういう話もなくアクセス数の話なんて、当日出たか分からな
いですが、自分は初めて聞いたのですよね。ということは、まだ協議
の段階なのに、自分はやはりきちんと説明して今後協議もどう進めて
いくのか聞くべきなのではないかと思ひますし、それで議会全体がも
うしない、来年の予算までしないというのであれば、また一般質問を
個人的にやっていくしかないかなとは思ひのですが、議会全体として、
ここは全体ではなくあくまでも広報としての話合いなのですが、来年
の予算づけまではそういう話はしない、議会としてしないというこ
であれば個人的にやるのかなと思ひたりしました。

阿部委員長 一応これまで何回か協議の場を設けることができました。その窓口と
なっていたのが地域振興課。そちらのほうにまず打診をして、町長の
日程、これについては以前説明しておりますので。この流れについて
は、先日地域振興課のほうから資料をもらう関係で課長とも話をして
きまして、今回の結果については町側からの説明というのは局長のほう
から聞きましたけれどもなかったということで、2月19日に広報
広聴常任委員会を開くので、その内容によっては再度町側のほうとも
協議する可能性があると思ひますということは伝えてありますので、全
く協議をしていかないということではなく、皆さんからまだ協議は必

要だという声があれば、当然委員長として窓口の地域振興課を通してそちらの方には伺っていきたいと思います。

(休憩 15:32～15:40)

阿部委員長 調査中の議会広報活動について、インターネット中継を現在も調査しております。これについて、インターネット中継についての協議は町側と今後も続けていきますし、委員会条例のほうも広報広聴常任委員会のほうに担当課がないということもありますので、委員会条例のほうの改正も考えてやっていきたいと思いますので、それでよろしいですか。(はいの声)

2. 議会広聴活動

(1) 現在実施している議会広聴活動

阿部委員長(説明 15:40～)

2の議会広聴活動について。まず(1)現在実施している議会広聴活動、①町民との意見交換会。過去の意見交換会として、これまでやった6回の意見交換会をこちらのほうに載せております。1回目の子育て世代、0歳から6歳児の保護者、これが第1回目で平成29年12月19日に開催しました。参加人数が18名となっております。最後に開催したのが第6回の小中高校生、各学校のPTA役員の方に参加してもらいまして、令和2年の2月6日に開催しております。参加人数は6名となっております。今後の意見交換会については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、延期としております。これについては現状こういう状況ですので、また時期を見ながら再開していきたいと思いますのでそれでよろしいですか。次に②の町民アンケートについてですが、これは令和2年10月22日から令和2年11月20日まで、約1か月の間でアンケート調査を実施しました。回答者数は210人。今後の実施については引き続き広報広聴常任委員会のほうで協議していきたいと思います。アンケート調査に必要な予算を確保してQRコード作成委託料は令和3年度当初予算に予算要求しております。詳細について局長のほうから説明いただいてもよろしいですか。

豊島局長

委託費の中で、インターネットを介してQRコードで回答いただけるようにということで、今年度実施したやり方をもってできるような形での予算、最低限の予算となりますが、そういう予算については要求をさせていただいているところです。計上に

については、査定のところでは結果を0にしているということではないので、恐らく3月定例議会のほうに議会費の中に含まれて上程されてくる中身になると思いますので、問題なくできていけるとと思います。ただ、金額が急に上がっていけばそこに見合っている金額を積算していませんので、それについては既定予算範囲内ということになるかと思っています。

阿部委員長

1回分ですよ

豊島局長

1回分です。

阿部委員長

今後ですね、町民アンケートについては先ほども言いましたが、広報広聴常任委員会のほうで実施するかどうか考えていきたいと思ひますし、町民アンケートの結果②の中でも、町民アンケートの部分構成比が20.1%と、この中では高い結果となっておりますので、町民の方も興味を持っていただけたのかなとは思ひますので、こちらについては引き続き実施するかどうか協議してきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。現在実施している議会の広聴活動について何かご意見等あればお聞きしたいと思ひます。

— 主な協議内容等（質疑） — 15:46～15:48

小寺委員

情報提供ではないのですが、幕別町の議会が報告会を行って、新聞にも載っていたのですが、どういうふうに行ったかという、議場を使った報告会プラスオンラインに対応してそれを同時中継でやるということで、かなり良い評価。資料もきちんとネット上で閲覧できるようになっていて、やったということを知ったので、今後オンラインをうまく活用できれば、オンラインだけというパターンもできますし、会場に来られる人は来てもらうプラスオンラインでも対応するというのも新しい方法としてはあるのではないかなというふうに思ひますので、ぜひ幕別町の議会に動画ももう載っているのですが、録画したもののですがオンラインとハイブリッドでうまく併用して、時間もコロナ禍ということで1時間くらいにまとめて、上手な報告会だったのでは

ないかと思ったので、今後集まらないというふうになれば、また新たな形として、だからインターネットを使うので、予算がないのでできないとするのか、また新たな議会中継だけではなく、そういう報告会も含めた広報の部分でそういう対応もできるのではないかなというふうに勉強になったので、もしよろしければご自宅で幕別町の議会、資料もすごく作り込んでいて、とても良い資料だったので、参考になるのではないかと思います。

3. 新たな議会広報広聴活動

阿部委員長（説明 15:48～）

3の新たな議会広報広聴活動ということで、小寺委員に話してもらった意見等も参考にしながら、こちらについても引き続き広報広聴常任委員会のほうで調査研究していければと思っていますので。それ以外にもちょっと2と3が一緒になってしまいましたけれども、それ以外でも何か新たな取組といった部分も当然出てくると思いますので、そういった部分を引き続き調査研究していければと思っています。

— 主な協議内容等（質疑） — 15:48～15:58

金木副委員長 ちょっと質問も交えて、それはいわゆるY o u T u b eライブみたいな、今芸能人とかが使っているような感じなのか。あと、参加者とか視聴している町民からは何か意見なんかを発言できるような仕組みにもなっているのかどうか。

小寺委員 幕別町の議会の議場が新しくなったそうで、そういう中継システムもあるそうなのですね。基本それがあって、それはY a h o oとかY o u T u b eとかそういうのを介さず、いきなりホームページ上から動画を見られるというシステムらしいのです。当日何人というのを覚えていないのですが、議場に10人くらいとオンラインで聞いたら道外の方も、そういう報告会は初めてというので参加された方ですとか、資料も当日ある資料は紙資料なのですが、ネット上にもきちんと同じ資料があって、その何ページを御覧くださいという配慮をされた感じでした。ですので、Y o u T u b eとかそういうのではなく、あくまでも町のホームページから直接動画が見られるというパターンでやっているそうでした。あと何か。

金木副委員長 視聴している人などから発言したり拾ったりはできるのか。

小寺委員 1つが事前にアンケートでそれについて答え、それはきちんとペーパーで各常任委員長が大きいので2つかな、きちんと事前に来たものに対しては回答していましたし、オンラインのやつもきちんと読み取って、それに対しての回答はしていました。ぜひ見てみてください。きっと自分が説明するより見ていただいたほうが資料を見ながら見られるので、面白いやり方だなというふうに思いました。

金木副委員長 アンケートについてなのですが、今回は昨年の10月から11月あたりに取り上げたのは結果的に本当に良かったと思うのです。回答者数も210人で、私は200を超えないだろうという予想に反して、200を超えたということで。ただこれは、今回議会活動と町政全般にわたってかなり内容も広いアンケートだったと。これを今年も予算要求したら恐らくつくのだろうと思いますが、同じようなものが毎年必要かどうかというのは考えどころなのではないかなと。毎年やっても結果同じようなものだと思うのですよね。内容的には。だから、さらにこういう問題というふうに絞って聞いてみるだとか、調査するだとか、例えば昨年、今年とコロナがまたずっと続いていけば、これに対する町民の皆さんの状況だとかというものをアンケートするとか、何かそういうことでその時点で必要に応じて内容とかも考えて対応、対処すべきと思っています。

小寺委員 最終的に最後まとめて終わった感じですけども、後はそれぞれ議員が議員活動でという話だったのですが、例えばものによっては常任委員会に分けてとか、そういう話も常任委員会ごとにまたそこで掘り下げて調査したりとかという話もあったような気がしたのです。そのルール作りをしないと、例えばせっかくいい案があってもそれを積み上げていくためには常任委員会を開いて調査して、最終的に例えば今年の10月とかにきちんとした提言をアンケートをそのまま渡すということではなく、町民からの声を聞きました、それを委員会としてまとめるというか調査をして、本当に必要なものであれば常任委員会ごとにでもいいですし、議会として来年度以降はこういう政策をお願いしたいという政策提言につなげるようなルールはここで作るかどうかは別としても、どこかで議会全体でもいいので話し合う機会がないと、

私個人的に言われたのはアンケートを取って今回閲覧板で見たけれども、これだけの意見をどうするのかと。今までは意見交換会も最終的な締めは今後の議員活動に生かすということなのですが、あれだけのボリュームで来たものを今後どういう処理をしていくかというのも、どこかで決めていかなければならないのではないかなと思うのです。それが広報広聴とは限らないと思うのですが。

阿部委員長

小寺委員の言ったように、個々の議員活動に役立ててもらいたいという部分もありましたし、各常任委員会のほうで当然アンケートを取るにあたっては、各委員長さんのほうにはアンケート調査項目を絞ってほしいというお願いをしていましたので、当然絞った段階で各常任委員会に決めてもらったと思うのですが、今必要だからこれを調査するというので、アンケートを取ったということになっていますので、当然各常任委員会のほうでアンケート結果をもとに今後の調査事項には含んでいってもらいたいなという思いもありますし、今回広報広聴常任委員会を開いたのも、このアンケート結果をもとに今後どういったことができるのかということで今回開いていますので、小寺委員は文教厚生常任委員長ですのでぜひそういった部分を考えてやっていただきたいというのと、1つのルール作り、政策提言という部分で、最終的に町長のほうに持っていくというような感じですよ。そちらについては、そこまで話までは進んでなかったのかなとは思っていますので、最終的な政策提言という部分では、当然全体の意見を聞きながらやる必要となれば、これは私がやりますとは言えないところもありますので、何らかの機会で行っていただければいいのかなとは思っています。今回のアンケート結果については、調査報告書としてまとめたものを、12月の定例会前には町長のほうには届けていますので、結果報告は町長のほうにもしています。それから先のルール作りというのは、また全体のほうで決めてもらえなと思います。どうですか。ないようでしたらいいですか。それではないようですので、以上をもちまして広報広聴常任委員会を終了いたします。お疲れさまでした。